

様式第8

平成22年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
津市		H17-21	H17-21

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現状(割合※1) (平成15年度)	目標(割合※1) (平成22年度) A	実績(割合※1) (平成22年度) B	実績B/ 目標A
排出量	事業系 総排出量	61,548t	31,107t (-49.5%)	27,493t (-55.3%)	88.4%
	1事業所当たりの排出量	4.35t	2.18t (-49.9%)	2.19t (-49.7%)	100.5%
	家庭系 総排出量	83,358t	80,758t (-3.1%)	72,261t (-13.3%)	89.5%
	1事業所当たりの排出量	264kg/人	240kg/人 (-9.1%)	253kg/人 (-4.2%)	105.4%
合 計 事業系家庭系総排出量合計		144,906t	111,865t (-22.8%)	99,754t (-31.2%)	89.2%
再生利用量	直接資源化量	12,483t (8.6%)	15,893t (14.2%)	3,546t (3.6%)	22.3%
	総資源化量	34,407t (23.7%)	41,714t (37.3%)	24,805t (24.9%)	59.5%
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	10,621MWh	10,500MWh	9,192MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	78,318t (54.0%)	60,930t (54.5%)	67,630t (67.8%)	111.0%
最終処分量	埋立最終処分量	37,401t (25.8%)	13,913t (12.4%)	11,274t (11.3%)	81.0%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成15年度)	目 標 (平成22年度) A	実 績 (平成22年度) B	実績B/ 目標A
総人口		290,359	292,146	288,674	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	77,200	104,294	110,596	106.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	26.6 %	35.7%	38.3%	107.3%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	9,608	12,712	10,945	86.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	3.3%	4.4%	3.8%	86.4%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	77,383	93,356	89,393	95.8%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	26.7%	32.0%	31.0%	96.9%

未処理人口	汚水衛生未処理人口	126,168	81,784	77,740	95.1%
-------	-----------	---------	--------	--------	-------

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの		環境教育、普及啓発	津市	住民や小学生に対し、ごみの分別や資源化の大切さを普及啓発する	H17-21	自治会等に対して出前講座を開催 小学校4年生へ社会科副読本「ごみとわたしたち」を配布 市民清掃デー、環境フェア等の環境美化活動を実施
		マイバック運動の推進		市民・事業者・行政が連携しながら、レジ袋の有料化及びマイバッグ運動を展開する	H21	協力企業と連携し、レジ袋の有料化制度を導入
		ごみの有料化		ごみの有料化によるごみの減量及びリサイクル促進の意識向上を図る	H17-21	調査・検討
		事業系一般廃棄物処理の指導		多量排出事業者にごみの減量、処理に関する計画書を作成させ、廃棄物の減量化の推進を図る	H17-21	市内の多量排出事業者に対し、「事業系一般廃棄物減量化計画書」の作成を要請し、ごみの減量化・資源化を指導
処理体制の構築、変更に関するもの		分別区分の見直し	津市	市町村合併に伴う収集効率の向上等のため、分別区分の見直しを行う	H21	地域によって異なっていた分別区分・収集回数を統一
処理施設の整備に関するもの	1	安芸・津衛生センター	津市	し尿・浄化槽汚泥の海洋投入処分の禁止に伴う、陸上処理施設での処理量の増加等に対応し、かつ、適正処理を行うために必要な施設整備を実施する	H17-18	188kℓ/日 内訳 し尿 60kℓ/日 浄化槽汚泥 128kℓ/日

	2	浄化槽に関する事業	津市	浄化槽設置設備	H17-18	浄化槽整備基数・人口 平成17年度 76基・228人 平成18年度 23基・69人
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	最終処分場施設整備事業(事業番号※1)に係る計画支援事業	津市	測量調査（用地測量、地形測量） 環境影響評価（方法書、現地調査）	H21	平成21年度新最終処分場等施設用地測量業務委託 平成21年度津市新最終処分場等整備に係る環境影響評価方法書作成業務委託 平成21年度津市新最終処分場等施設整備に係る環境影響評価猛禽類調査業務委託
	32	リサイクルセンター施設整備事業（事業番号※2）に係る計画支援事業		測量調査（用地測量、地形測量） 環境影響評価（方法書、現地調査）	H21	平成21年度新最終処分場等施設用地測量業務委託 平成21年度津市新最終処分場等整備に係る環境影響評価方法書作成業務委託 平成21年度津市新最終処分場等施設整備に係る環境影響評価猛禽類調査業務委託
	33	リサイクルセンター施設整備事業（事業番号※3）に係る計画支援事業		測量調査（用地測量、地形測量） 環境影響評価（方法書、現地調査）	H21	平成21年度新最終処分場等施設用地測量業務委託 平成21年度津市新最終処分場等整備に係る環境影響評価方法書作成業務委託

						平成21年度津市新最終処分場等施設整備に係る環境影響評価猛禽類調査業務委託
その他	再利用・再生品の利用拡大 焼却灰の溶融スラグ化 不法投棄対策 災害時の廃棄物処理	津市	グリーン購入の促進及びエコステーション等により不用品の再利用を図る 焼却灰の溶融スラグ化により建設資材等に有効利用を図る 自治会と協力しながらパトロールの強化を行う 地域防災計画及び三重県災害等廃棄物処理協定書に基づき災害時の廃棄物の適正処理を行う	H17-21 H17-21 H17-21 H17-21	調査・検討 三重県廃棄物処理センターに委託し、資源化 パトロールの実施 防止看板の設置 調査・検討 (22年度に災害廃棄物処理計画策定)	

3 目標の達成状況に関する評価

ごみの総排出量は、目標を上回る減量を達成した。一方、再生利用量は目標値を下回っていることから、今後は、分別徹底の啓発や資源回収施設の整備などにより、リサイクルの推進を図っていきたい。

処理施設整備について、安芸・津衛生センターを整備したことにより、公衆衛生の向上を図るとともに、安全かつ安定的な処理ができ、排水による公共用水域の水質汚濁防止となった。また、浄化槽整備基数及び人口については、目標を達成することができた。

施設整備に係る計画支援に関するものについては、計画通りに実施し、平成22年から平成28年にかけての2期計画につなぐことができた。

(都道府県知事の所見)

津市循環型社会形成推進地域計画については、施設整備の追加に伴い、平成17年4月1日から平成22年3月31日までを第1期、平成22年4月1日から平成28年3月31日までを第2期とした計画となっている。第2期の計画については、平成22年3月29日に承認を得ており、現在津市においては、第2期計画に基づき施設整備等を進めているところである。

なお、今回の事後評価は、第1期計画における目標の達成状況について行うものである。

①発生抑制、再使用の推進について

ごみの総排出量は、事業系・家庭系ともに平成22年度目標を達成している。これは、地域計画期間中に主に小学生や市民を対象に環境教育及び普及啓発を継続的に実施したためではないかと思われる。ただし、1事業所(1人)当たりの排出量について目標が達成されていない。また、再生利用量についても目標を下回っている。これについては、古紙や金属などの価格高騰を背景に民間での直接取引が増加したことや、いわゆる“持ち去り”行為の影響もあると考えられる。第2期計画においても引き続き、家庭ごみの有料化の検討や事業系一般廃棄物減量化計画書に基づく指導により、総排出量の削減を図るとしている。

②処理体制の構築、変更について

平成18年に10市町村が合併し、現在の津市が誕生した際に課題となっていた分別区分等の統一化について、本計画期間中に検討し実施された。

③処理施設の整備について

し尿等の海洋投入処分禁止に伴い、適切にし尿処理施設の整備が図られた。また、浄化槽についても目標整備数を達成している。

④施設整備に係る計画支援について

第2期計画期間中に整備予定である最終処分場及びマテリアルリサイクル推進施設に係る計画支援事業について、本計画期間中に計画どおり実施された。